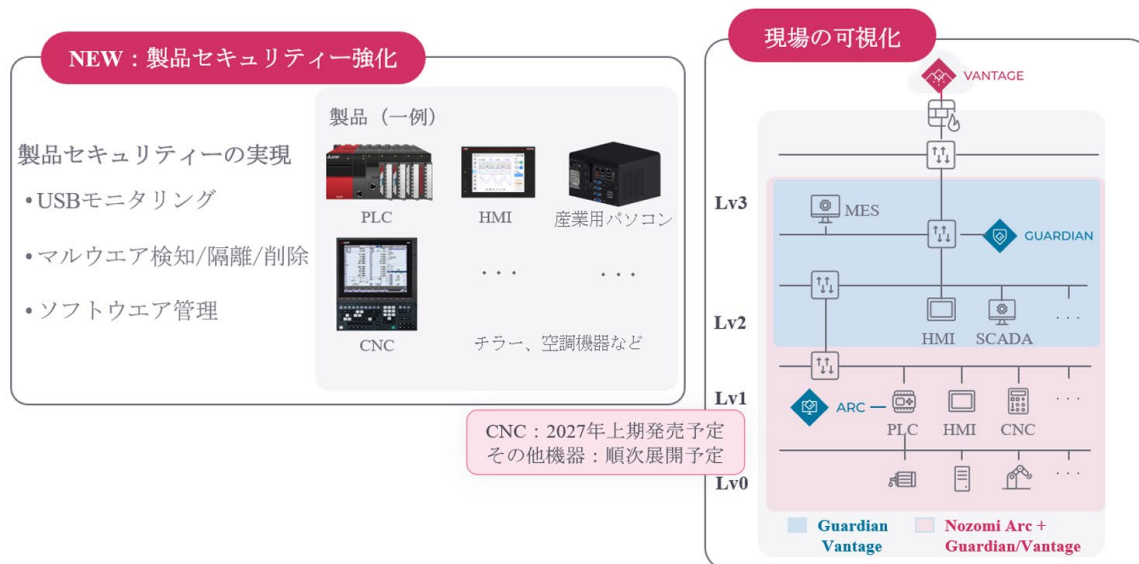


2026 年 10 月 22 日
三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

産業機器上で OT セキュリティーを実現する新ソリューションを開発
製品のセキュリティ強化と現場全体の可視化を両立し、安心・安全な OT 環境の実現に貢献



新ソリューションのイメージ図

三菱電機株式会社は、2026 年 1 月に完全子会社化^{※1}した米国 Nozomi Networks, Inc. (以下、Nozomi) が有するグローバルトップクラスの OT (Operational Technology) セキュリティー技術を活用し、産業機器上で OT セキュリティーを実現する新しいソリューションを開発しました。本ソリューションにより、産業機器メーカーのセキュリティ対策の実装を支援するとともに、それらの機器を使用するユーザーの安全で信頼性の高い設備運用に貢献します。なお、本ソリューションは、「Nozomi ArcTM (ノゾミ アーク)^{※2}」の拡張機能として、2027 年度中の提供開始を予定しております。

近年、製造業や社会インフラ分野の IoT 化・DX 化の進展に伴い、安定した事業継続を支える OT セキュリティーの重要性が高まっています。さらに、欧州の CRA^{※3}をはじめとする法令・規格への対応も求められる中、産業機器やそれらを搭載する装置に対するセキュリティ強化が求められています。一方で、多種多様な設備・機器が混在し、個々の状態や通信、異常な挙動を把握することが困難な OT 環境では、産業機器を起点としたサイバー脅威への対応が課題となっています。

こうした課題に対し、本ソリューションは、「Nozomi Arc」の監視機能を、当社が提供するコントローラ製品をはじめとした各種産業機器に搭載し、USB モニタリングやマルウェア検知・隔離・削除、ソフトウェア管理を行うことで、産業機器やそれらを搭載する装置に対する製品セキュリティを強化します。また、Nozomi の OT/IoT 資産可視化・脅威検知ソリューションとの連携により、個々の産業機器・装置から OT 環境全体の状態や通信を一元的に可視化し、早期の異常や脅威検知を可能とします。

今後は、本ソリューションを、当社が提供するさまざまな OT 機器へ順次搭載していくとともに、各種産業機器・装置メーカーへも広く提供することで、OT 環境全体のセキュリティレベル向上と可視化を促進し、安全・安心な OT 環境の実現に貢献します。

なお、本ソリューションを搭載した製品の第一弾を、「JIMTOF2026^{※4}」(10 月 26 日～10 月 31 日、於：東京ビッグサイト) に参考出展いたします。

※1 2026 年 1 月 29 日広報発表 <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/ja/pr/2026/pdf/0129-b.pdf>

※2 悪意のあるエンドポイントを検知し防御するホストベースのセキュリティセンサー

※3 Cyber Resilience Act (サイバーレジリエンス法) の略。EU が 2024 年に制定したデジタル要素を持つ製品のサイバーセキュリティを義務化する規則。2026 年 9 月から一部義務化され、2027 年 12 月に全面適用される予定

※4 <https://www.jimtof.org/search/jp/ESdetails?e=AjLnzm01WWU>

関係者コメント

三菱電機株式会社 専務執行役、CDO、デジタルイノベーション事業本部長 武田 聡 コメント
「OT 環境を取り巻くサイバー攻撃のリスクが高まる中、設備や機器にセキュリティ機能を実装する必要性がますます高まっています。今回の開発は、Nozomi の先進的な OT セキュリティ技術と、三菱電機が長年培ってきた OT・制御技術を組み合わせた成果です。今後は、当社のデジタル基盤「Serendie®」との連携を通じて、OT セキュリティの強化と設備データ活用による運用最適化を実現し、現場から経営までをシームレスにつなぐ新たな価値創出による、お客様の DX の実現と事業価値向上に貢献してまいります。」

新ソリューションの特長

1. 産業機器・装置上で製品セキュリティを強化し、安全で信頼性の高い運用を支援

- ・「Nozomi Arc」の監視機能を産業機器に搭載し、USB モニタリング、マルウェアの検知・隔離・削除、エンドポイント資産監視などの高度なセキュリティ監視機能を産業機器・装置上で実現。これにより、各設備のセキュリティ強化に貢献
- ・汎用性の高い Microsoft Windows 上で動作するソフトウェアとして提供することで、多様な OT 機器への適用が可能となり、OT 現場全体のサイバーレジリエンス向上に寄与

2. Nozomi ソリューションとの連携により、OT 現場全体の高度な可視化を実現

- ・本機能を搭載した産業機器・装置と、Nozomi の OT/IoT 資産可視化・脅威検知ソリューションを連携させることで、機器から取得した情報を活用し、OT 環境の高度な可視化を実現
- ・OT 現場全体の状況把握やセキュリティリスクの監視を通じて、異常や脅威の早期発見を支援し、効率的なセキュリティ運用に貢献

3. 現場データを活用し、生産性向上と DX 推進を支援

- ・本ソリューションで収集した現場データを、当社のデジタル基盤「Serendie」に統合し分析することで、セキュリティ対策に加え設備運用の最適化や生産性向上を実現し、迅速な経営判断を支援

商標関連

「Windows」	マイクロソフト グループの企業の商標
「Serendie」	三菱電機株式会社の商標
「Nozomi Arc」	Nozomi Networks, Inc.の商標

三菱電機グループについて

三菱電機グループは、「Our Philosophy」のもと、サステナビリティを経営の根幹に据え、社会・顧客・株主・従業員をはじめとしたステークホルダーからの信頼を重んじてまいります。また、「収益性」「資本効率」「成長性」を追求するとともに、顧客と繋がり続けて社会課題を解決する新たな価値を創出し、企業価値の持続的向上を図ります。1921 年の創業以来、100 年を超える歴史を有し、社会システム、エネルギーシステム、防衛・宇宙システム、FA システム、自動車機器、ビルシステム、空調・家電、デジタルイノベーション、半導体・デバイスといった事業を展開しています。世界に 200 以上のグループ会社と約 15 万人の従業員を擁し、2025 年度の連結売上高は 5 兆 8,947 億円でした。詳細は、[オフィシャルウェブサイト](#)をご覧ください。

お問い合わせ先

<報道関係からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 広報部

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号

TEL 03-3218-2332

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/contact.html>

<お客様からのお問い合わせ先>

三菱電機株式会社 デジタルイノベーション事業本部 OT セキュリティ事業推進部

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5

E-mail : ot-security-info@mf.MitsubishiElectric.co.jp